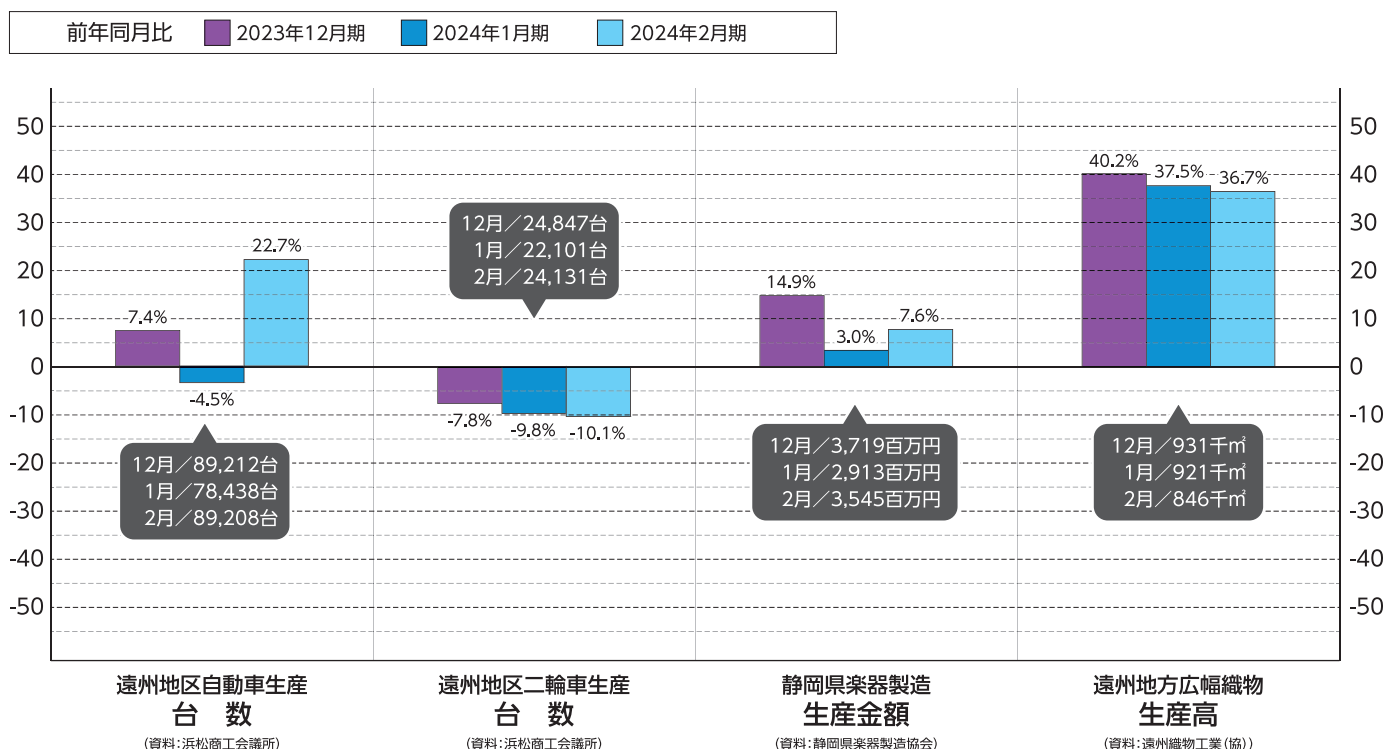


製造業は自動車・楽器が回復し、

非製造業はホテル利用の団体客がインバウンド効果で増加傾向。

自動車の生産台数は、自動車メーカーの認証不正問題の影響は一過性で再び前年同月を上回った。二輪車は減少傾向が続いている。楽器の生産金額は前年同月を20カ月連続で上回り、繊維も7カ月連続で上回った。運輸業は、例年2月の催事やイベントが少ないため運送収入は増加しにくい。ホテルの稼働率は、能登半島地震の影響を受けて個人客の利用減があったものの、団体客はインバウンドが増加傾向にある。レギュラーガソリンの高騰と円安が進み、収益を圧迫している。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年2月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比22.7%増の8.9万台となり、自動車メーカーの認証不正問題等の影響は一時的なものだったと思われる。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は18.9%増、小型四輪車は35.9%増、普通自動車は37.1%減となり、軽自動車の回復が生産台数の増加に寄与している。国内向けは22.7%増、輸出も22.7%増となり6カ月連続の増加となっている。

二輪車



2024年2月における二輪車生産台数は前年同月比10.1%減の2.4万台となり、8カ月連続の減少となった。国内向けは27.5%減となり4カ月連続で減少、輸出は8.3%減で8カ月連続の減少となっている。排気量別では、50cc以下20.7%減、51cc～125cc以下20.3%減、126cc～250cc以下15.9%増、251cc以上11.1%減となり、251cc以上の大型バイクも2カ月連続で減少となった。

楽器



2024年2月における楽器生産金額は前年同月比7.6%増の35.4億円となり、20カ月連続で前年同月を上回っている。生産金額は再び35億円超となり、堅調に推移している。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ18.7%減、電子・電気ピアノ29.4%減、電子オルガン58.9%減、管楽器21.3%増となっている。

繊維



2024年2月の生産高は前年同月比36.7%増の846千㎡となり、7カ月連続で前年同月を上回った。対前年比は回復基調にあるが、コロナ禍以前の水準への回復には至っていない。アパレルメーカーなどが、国内のモノづくりが割高になっているため、低価格を維持するために東南アジアを中心とする海外製の生地を選ぶ傾向があり、遠州産地にも影響が出ている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年2月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比4.0%減の26.6万人となった。例年2月はホテルの催事やイベントが少なく、運送収入が増加しにくい月である。今年は、閏年で1日営業日数が多かったが、あまり運送収入に影響は出ていない。

観光

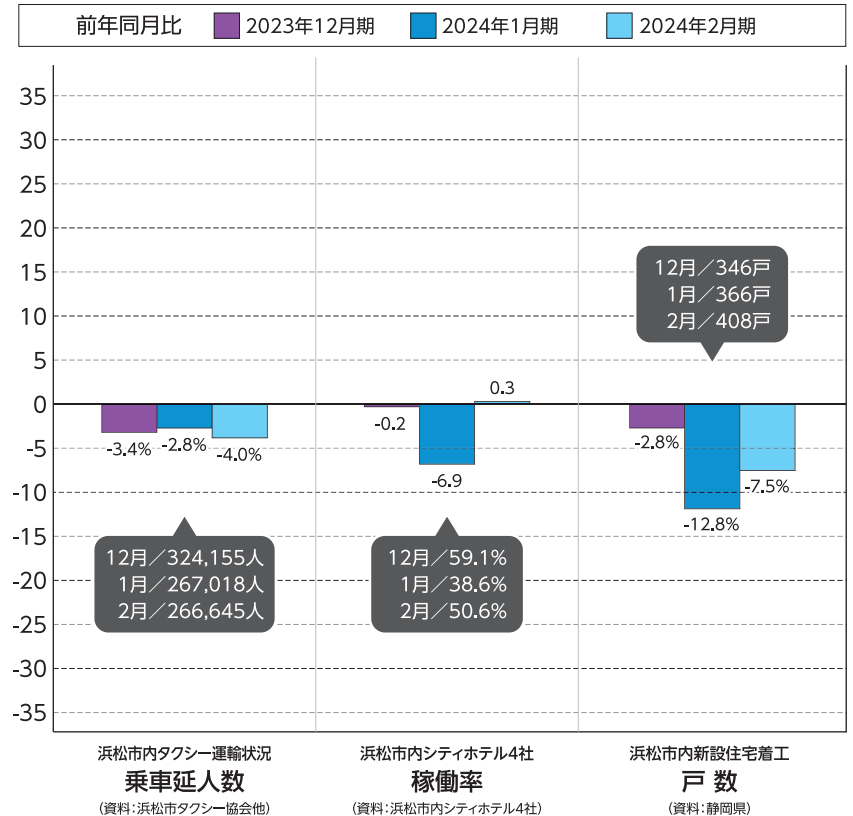


2024年2月の浜松市内ホテルの稼働率は50.6%であった。個人客に関しては、能登半島地震の影響か、観光・ビジネスともに減ってしまった。団体客はインバウンドが増加傾向にあったため、全体の稼働率は50%を回復した。

住宅着工



2024年2月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比33戸(-7.5%)減少の408戸となった。内訳をみると、持家は150戸、貸家181戸、分譲住宅は77戸であった。持ち家は47戸減少したが、貸家は1戸の増加で分譲住宅は19戸の増加であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年2月の有効求人倍率は1.35倍となり、前年同月との比較では0.03ポイント上回り、前月との比較では0.05ポイント下回った。全国(1.26)との比較では0.09ポイント、静岡県(1.20)との比較では0.15ポイント上回り、浜松市の雇用情勢は全国および静岡県よりも人手不足が課題となっているが、少しずつ有効求人倍率は下がってきている。

倒産企業



2024年2月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は39件、金額は4.5億円だった。前年同月との比較では件数が7件、金額も1.2億円の増加となった。件数は7カ月連続で前年同月を上回り、金額も4カ月連続で上回っている。コスト上昇や人材不足が影響して代位弁済数が増えていると思われる。

ガソリン価格



2024年2月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり176.1円だった。前年同月との比較では10.0円増加し、先月との比較では0.8円の減少となった。3カ月連続で175円を上回り、企業活動や消費行動に影響を及ぼしかねない。物流の2024年問題と合わせて、輸送業界の今後の動向に注視していきたい。

外国為替



2024年1月の外国為替は1ドル149.42円となり、前年同月との比較では16.74円の円安となった。前月との比較でも2.85円の円安となり、150円圏近となっている。

